

# 愛知学院大学歯学部倫理委員会

## 令和3年度第6回会議 次第

令和4年3月24日（木）15:00～

### I. 報告

1. 令和3年度第5回倫理委員会議事録（案）（令和4年1月27日）
2. 委員長決裁について（3件）
3. その他

### II. 協議

1. 委員長決裁案件について（上記報告の3件）の承認
2. 新規申請の審査（6件）
3. その他
  - 1) 令和4年度 歯学部倫理委員会 委員について（資料1）
  - 2) 令和4年度 歯学部倫理委員会開催日について（資料2）
  - 3) 本田先生からの資料

歯学部倫理委員会 名簿

	氏名	所属等	委員区分(選出母体)	任期
	本田 雅規	口腔解剖学講座教授	規程第4条(1)基礎系講座専任教員	2021.4.1～2023.4.1
	池田 やよい	解剖学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
○	長谷川 義明	微生物学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
◎	前田 初彦	口腔病理学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	杉田 好彦	口腔病理学・歯科法医学講座准教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	長尾 徹	顎顔面外科学講座教授	規程第4条(2)臨床系講座専任教員	2021.4.1～2023.4.1
	野本周嗣	外科学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	成瀬 桂子	内科学講座教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	田淵 雅子	歯科矯正学講座准教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	高木 敬一	法学部教授	規程第4条(3)倫理学・法律学の専門家等、人文・社会科学の有識者	2021.4.1～2023.4.1
	黒神 聰	元本学法学部教授	〃	2021.4.1～2023.4.1
	柿田 憲広	元金城学院大学非常勤講師	規程第4条(4)研究対象の観点を含めて一般の立場から意見を述べることのできる者	2021.4.1～2023.4.1
	鏡山 典子	愛知教育大学職員 学務部学生支援課 障害学生支援室	〃	2021.4.1～2023.4.1
顧問	鈴木 慎太郎	法学部教授		2021.4.1～2023.4.1

令和3年度 第6回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

1	実施責任者	後藤 滋巳
	研究課題	固定式Ⅱ級是正装置とヘッドギアーの使用感におけるアンケート調査
	概要	公表不可
2	実施責任者	有地 栄一郎
	研究課題	顎口蓋裂のパノラマエックス線画像所見に関する後ろ向き研究
	概要	<p>口唇顎口蓋裂は顎顔面領域において頻度の高い先天性疾患である。治療は長期に及び、エックス線画像による定期的な観察が必要である。通常、顎口蓋裂はCTやCBCTを用いて正確に診断することが可能である。しかし、被ばく量の多いCTやCBCTは多用するべきではなく、一般的にパノラマエックス線画像や口内法エックス線画像によって定期観察を行う。また、顎裂や口蓋裂は口腔内の所見で診断することが可能である。しかし、日常臨床で多くのパノラマエックス線画像を読影する必要のある歯科放射線科医にとって、全ての患者の口腔内を診察することは困難であり、多くの場合画像のみで診断する必要がある。現在、画像診断の領域では様々な病変の特徴的所見が明らかにされており、それらの所見は診断する上で非常に有用である。しかし、パノラマエックス線画像における顎口蓋裂の特徴的所見は明らかにされておらず、特に口蓋裂の診断は非常に難しい。そのため、本研究では診断に有用なパノラマエックス線画像における顎口蓋裂の特徴的所見を明らかにすることを目的とする。更に、本研究で得られた結果をもとに、最新の人工知能の技術であるディープ学習システムを構築する。</p> <p>なお、本研究実施に伴って二次的に得られた結果や所見(偶発的所見)に関して、対象者への告知は行わない。</p>
3	実施責任者	長尾 徹
	研究課題	パノラマX線写真を用いた下顎埋伏智歯抜歯後の下唇知覚異常の予測
	概要	<p>口腔外科で最も頻繁に行われる手術は下顎埋伏智歯抜歯術で、その合併症に下唇知覚異常があるため、下顎智歯と下顎管の位置についての術前評価が重要となる。情報量の多い歯科用コーンビームCT(以下CBCT)は下顎智歯と下顎管の位置関係を観察する場合、パノラマX線画像に比べ有用であるが、全ての患者にCBCT撮影することは困難である。</p> <p>このため、パノラマX線画像で下顎埋伏智歯@抜歯後の下唇知覚異常のリスクが予測できないかを検討する。パノラマX線画像で下顎智歯と下顎管の接触程度および重畳サインの有無を評価し、CBCT所見との関連を検討する。次に下唇知覚異常の発生率を明らかにし、下唇知覚異常が出現した症例のパノラマX線所見とCBCT所見を比較し、下歯槽神経損傷のリスク因子を予測する上で有用なパノラマX線所見を検討する。</p>
4	実施責任者	長尾 徹
	研究課題	下顎第三大臼歯に対する歯冠部切除術の術後成績
	概要	<p>下顎第三大臼歯根が下顎管に接している場合には抜歯に際して下歯槽神経を損傷し、術後に下唇知覚異常を生じて患者のQOLを低下させ、時に医療訴訟に発展する。下顎第三大臼歯の歯冠部切除術とは、抜歯時に歯冠部のみを切除し、歯根はそのまま保存する手法である。本法の神経損傷回避の有用性は現在まで9篇のSystematic Reviewで高評価されている。一方、残存歯根は移動することが多く、口腔内露出および感染等の可能性を残している。本法は2000年代に入り施行されるようになったので、その長期的経過については不明な点が多く今後の研究報告が期待されている。</p> <p>歯冠切除術の術後経過について、歯学部倫理委員会承認を得て、CTとパノラマX線画像、および郵送問診票により研究発表を行っており、今後、CTとパノラマX線画像および郵送問診票に加えて、診療録を利用して臨床症状の経過を検討する。</p>

令和3年度 第6回歯学部倫理委員会  
インターネット公表一覧

5	実施責任者	名和 弘幸
	研究課題	愛知学院大学歯学部附属病院障害者歯科診療部における2017年から3年間の初診患者に関する実態調査
	概要	<p>愛知学院大学歯学部附属病院障害者歯科診療部は 2001 年に開設され、今日まで患者の特性を考慮しつつ様々な行動療法や笑気吸入鎮静法、全身麻酔法を併用して地域医療に従事してきた。障害者歯科領域における医療は、障害のある人の権利擁護とノーマライゼーションの概念の広まりから、患者や患者を取り巻く環境の多様化した問題点への対応が求められている。</p> <p>そこで今回、当院障害者歯科診療部における2017年から 3年間の初診患者について調査し、当科の過去の実態調査および当院小児歯科との比較検討を行うことで現在の診療体制を見直し、今後大学病院としてどのような役割を担っていくべきかを考察するための一助とすることを目的に本調査を行う。</p>
6	実施責任者	林 勇輝
	研究課題	一宮市におけるこども医療費助成開始とそれに伴う患者動向の変化について
	概要	<p>一宮市で1割負担であった小中学生の医療費を無料にするよう一宮市子ども医療費の助成に関する条例を改定し平成28年4月1日付で施行された。改定された後一宮市における子ども医療費は増加となり、条例改定の効果があった反面、医療費増加が市民の健康に寄与しているのかという疑問の声も上がってきており、歯科における医療費無料化の効果について検討する予定である。対象は一宮市に所在する小児専門歯科医院に通院している医療費無料の対象となる患者全員とする。なお、実施場所の施設責任者は実施分担者である。</p> <p>調査期間は実施前の平成26、27年度の2年と実施後の平成28年度から令和2年度までの5年。抽出項目は年間の対象患者の来院した人数、総診察回数、初診算定回数、再診算定回数、シーラント算定回数、歯髄処置算定回数、歯冠修復処置算定回数を算出する。比較検討するうえで全ての算定回数を来院した人数で割り一人当たり換算数を用いる予定である。</p>

## 令和3年度第6回歯学部倫理委員会議事録

日 時：令和4年3月24日（木）15時00分

場 所：歯学部基礎教育研究棟 第1会議室

出席者：前田、本田、池田、長谷川、長尾、杉田、田淵、黒神、柿田、鏡山、鈴木（顧問）、  
（事務）日比、永田、近藤

欠席者：野本、成瀬、高木

開 会：15時00分

### I. 報告事項

#### 1. 令和3年度第5回倫理委員会議事録（案）について

委員長から、資料に基づき報告があり、原案どおりこれを了承した。

#### 2. 委員長決裁案件について

委員長から、継続審査となっていた3件について、申請書類等の回覧審査を行い委員長決裁による承認とした旨、報告があった。

### II. 審議事項

#### 1. 委員長決裁案件について

委員長から提議され、継続審査となっていた3件について、委員長決裁で承認したい旨、説明があり、これを承認した。

#### 2. 倫理審査について

委員長から提議され、新規6件の申請があり、申請者から研究の概要及び実施計画等の説明を受け判定したい旨述べられ、これを了承した。

次いで、申請者から資料に基づき説明があり、研究実施計画等について質疑応答があり、それぞれの申請課題について審議した結果、6件とも全会一致をもって継続審査とした。

なお、申請課題の2件について、名誉教授が共同研究者を担うことになっているが、歯学部の名誉教授は、本学において研究を遂行出来ないことが学内決定されていることから議論となり、審議の結果、当課題の申請については、研究を中心として担うことがないため、これを承認した。

#### 3. その他

##### (1) 日本医療研究開発機構（AMED）に係る研究について

本田委員より、上記研究を実施するにあたり、倫理審査を受審する必要がある、共同研究機関である京都大学へ倫理審査を請求したい旨の説明があり、種々議論の結果、京都大学の倫理審査委員会に申請することを承認した。

##### (2) 令和4年度歯学部倫理委員会委員について

前田委員長より、今年度にて委員を退任される4名の紹介後、退任の挨拶があった。また、令和4年度の委員について提案があり、これを承認した。

##### (3) 令和4年度歯学部倫理委員会開催日について

前田委員長より、日程等の説明があり、これを承認した。

### 次回委員会について

- ・日時：令和4年5月12日（木）15時
- ・場所：楠元キャンパス 基礎教育研究棟1階 第1会議室

閉 会：16時40分